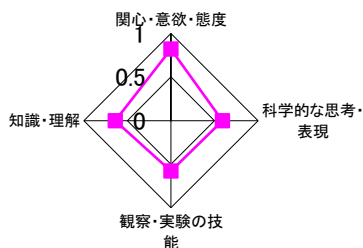


内容別・観点別の分析 (様式2)

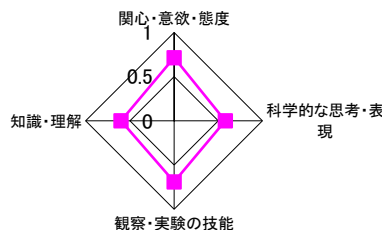
1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	82%
科学的な思考・表現	59%
観察・実験の技能	58%
知識・理解	64%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



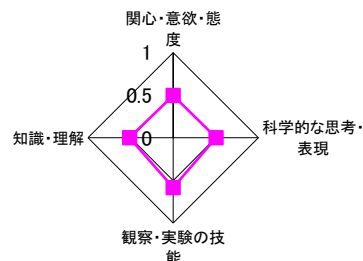
2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	72%
科学的な思考・表現	58%
観察・実験の技能	69%
知識・理解	60%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	50%
科学的な思考・表現	51%
観察・実験の技能	58%
知識・理解	51%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	知識・理解の定着を図りながら、科学的な思考力の向上を意識した授業展開を多く取り入れていく必要がある。表現力を高める設問や実験・観察を取り入れていき、自ら考え、表現する能力の向上が図れる指導法の工夫が必要と考える。	デジタルコンテンツなどを利用した提示教材の構造化等を進め、導入教材の工夫をする。大画面による教材提示を多用し、興味、関心、意欲を高める。授業の中で、対話をしながら科学的思考力に関わる問題を多く取り上げ、時間をかけて追究する学習形態にする。また観察の結果を画面で表示したり、実験の結果のノートの評価を通して技能や表現を向上させる。	小学校で学んだことを確認しながら、基礎基本の定着を図る。教科書や資料集の発展課題を取り上げ、実験・観察や演示実験等により関心、意欲を高める。ノートの点検を通して、個別の課題を指摘し、向上を図る。
2年	実験、観察の結果をまとめる作業を通して、「科学的な思考・表現」の能力を高める。「知識・理解等」の学習から更に思考力・表現力を高めていくための指導方法の工夫が必要である。また理科に関する興味を失われないような授業を行うようにする。	身近な出来事や事象を教材として導入の工夫をする。DVD教材を多用し、興味、関心、意欲を高める。授業の中で、対話を通して科学的思考力に関わる問題を多く取り上げ、時間をかけて追究する学習形態にする。また観察の結果を画面で表示したり、実験の結果のノートの評価を通して技能や表現を向上させる。	既習事項を確認しながら、基礎基本を繰り返す。教科書等の発展課題を取り上げ、実験・観察や演示実験等により関心、意欲を高める。理科ノートやプリントの点検を通して、個別の課題を指摘し、向上を図る。DVDの学習教材を適宜使用し、更に意欲を高める。
3年	関心・意欲・態度がやや低めという結果になっており、それがその他の観点に影響していると考えられる。理科に関する興味を失わないような授業や工夫が必要だと考える。	身近な出来事や最新のニュース等を教材として導入に工夫をする。また、実物の提示や実験、観察の機会を増やし、実験結果から、法則性や規則性を見いだして、科学的思考力を高めさせたい。また発表の場を授業の中に多く取り入れて表現力をつけさせたい。さらに知識・理解の定着を図るため、ワークシートやドリルを單元ごとに使い、学力を向上させたい。	自ら課題を設定し、主体的に取り組むことのできる「課題解決的な学習」の展開を取り入れる。学ぶ意欲と課題を解決する能力の育成を図り、『学ぶことの楽しさ』や『わかる喜び』を教師と生徒が共有しあえる関係づくりと「わかる授業」の指導法の研究を進めていく。

